

報道関係各位

令和8年1月15日
久喜市役所

児童が熱中する、新たな英語学習のカタチ

国内初！鷺宮小学校で「e スポーツ英会話(R)」導入

～児童の主体的な発話を引き出す学習プログラム・遊びと学びのボーダーレス～

久喜市教育委員会は、英語教育における「暗記による知識の定着」や「英語を使う必然性の低下」といった長年の課題の解決を目指し、「e スポーツ英会話®」を実証導入しました。

令和7年9月から導入し、鷺宮小学校にて小学3年生以上の学級を対象とした外国語（外国語活動）学習の一環として取り組んでいます。

今回の実証では、こどもたちが心から熱中できる「e スポーツ」を教材として使用することで、インプットとアウトプットの好循環が自然発生する学習環境を創出することをねらいとしています。

例えば、「アイテムを集めたい！」「仲間とミッションを達成したい！」という前向きな気持ちをもち、その達成にはコミュニケーションが必要だと考えます。そして、「ミッションを達成したい」⇒「英語で話したい」⇒「何て言えばいいのだろう」⇒（単語や伝え方を学ぶ）⇒「伝えてみよう！」と切実感をもつことで、自発的にコミュニケーションが生まれます。

このように、遊びと学びを一体として捉えることで、学習への抵抗感を極力減らし、「学びたい・話したい・伝えたい」意欲がこどもたちから湧き出る効果を期待しています。

実際に、授業後の振り返りでは、回を重ねるごとに意欲の変容が確認されています。

＜児童からの声（一部抜粋）＞

・「いつもの英語の授業より楽しくできました。あまり話せない英語をゲームを使って友達に教えてもらいながらできる限り話せました。」

（5年男子）

・「みんなと一緒に English を使って話せたし、ゲームだからいつもの英語の授業より楽しかった。」

（5年女子）

・「今日は、うまく話せました。いい感じに stone など単語を覚えました。」

Do you have などの質問を覚えました。」

（5年女子）

今後、本実証導入で得られた成果を踏まえ、「e スポーツ英会話®」というこどもたちの主体性を引き出す魅力的なコンテンツを、教育現場にどう生かしていくか検討を進め、「誰一人取り残されない教育」の実現を目指してまいります。

【参考資料】

- ・こどもたちが学習に取り組む様子

**【本件の問い合わせ先】**

指導課指導係

連絡先 TEL 0480-58-1111 (内線 343)

Mail shido@g.kuki-city.ed.jp